A 試合会場レポート

試合番号 **913**　　開催日 **2022/01/09**

第74回 全日本バレーボール高等学校選手権大会 女子　　会場： 東京体育館

観客数： 0	開始時間： 14:20	終了時間： 16:10	試合時間： 01:50	主審： 松永美志	副審： 片井伴浩

就実高等学校

監　督：西畑 美希
コーチ：

通　算： － 勝　－ 敗
ﾎﾟｲﾝﾄ：　　－

古川学園高等学校

監　督：岡崎 典生
コーチ：瀬戸 恵美子

通　算： － 勝　－ 敗
ﾎﾟｲﾝﾄ：　　－

3			1
25	第1セット【 00:22 】	18	
27	第2セット【 00:28 】	29	
25	第3セット【 00:26 】	18	
25	第4セット【 00:25 】	20	
	第5セット【　　】		

ポイント　－　　【】内はセット時間　（）内は交代選手　　ポイント　－

＜監督コメント＞

25	曽我 紀美 ( )	深澤 つぐみ ( )	第1セット	鈴木 玲香 ( )	阿部 明音 ( )	18
	岡田 愛菜 (田中 結姫)	岡崎 杏 (川田 萌寧)		熊谷 仁依奈 ( )	髙橋 陽果里 ( )	
	岩本 沙希 (河本 菜々子)	深澤 めぐみ ( )		タピア アロンドラ (深沢 媛心)	鈴木 夢乃 ( )	

リベロ： 井上 凛香　　リベロ： 北島 瑠渚

27	曽我 紀美 ( )	深澤 つぐみ ( )	第2セット	髙橋 陽果里 ( )	阿部 明音 ( )	29
	岡田 愛菜 ( )	岡崎 杏 (田中 結姫)		鈴木 夢乃 ( )	鈴木 玲香 ( )	
	岩本 沙希 (河本 菜々子)	深澤 めぐみ ( )		タピア アロンドラ (深沢 媛心)	熊谷 仁依奈 ( )	

リベロ： 井上 凛香　寺本 和華　　リベロ： 北島 瑠渚

25	岡崎 杏 (髙濱 日菜穂)	深澤 めぐみ ( )	第3セット	髙橋 陽果里 ( )	阿部 明音 ( )	18
	深澤 つぐみ ( )	岩本 沙希 (河本 菜々子)		鈴木 夢乃 ( )	鈴木 玲香 ( )	
	曽我 紀美 ( )	岡田 愛菜 ( )		タピア アロンドラ (深沢 媛心)	熊谷 仁依奈 ( )	

リベロ： 井上 凛香　　リベロ： 北島 瑠渚

25	髙濱 日菜穂 ( )	深澤 めぐみ (光森 彩未)	第4セット	髙橋 陽果里 ( )	阿部 明音 ( )	20
	深澤 つぐみ ( )	岩本 沙希 ( )		鈴木 夢乃 ( )	鈴木 玲香 ( )	
	曽我 紀美 ( )	岡田 愛菜 (田中 結姫)		タピア アロンドラ (深沢 媛心)	熊谷 仁依奈 ( )	

リベロ： 井上 凛香　　リベロ： 北島 瑠渚

	( )	( )	第5セット	( )	( )	
	( )	( )		( )	( )	
	( )	( )		( )	( )	

リベロ：　　リベロ：

＜監督コメント＞

＜要約レポート＞

決勝戦は、連覇を目指す就実と、２２大会ぶりの優勝を目指す古川学園の一戦となった。
　第１セット、序盤から就実は深澤（め）の力強いアタックで得点を重ねる。古川学園もタピアのアタックで対抗するが、点差は縮まらず就実が先取した。
　第２セット、終盤まで両チーム一歩も譲らず一進一退の攻防が繰り広げられる。就実は岩本のサービスエースなどで4連続得点しリードするが、古川学園も阿部や鈴木（玲）のアタックで追いつき、最後は鈴木（玲）のアタックが決まり、古川学園がセットを取り返した。
　第３セット、序盤から就実がリードする展開となった。古川学園もセッター熊谷のツーアタックやトス回しで対抗しようとするが、終盤に就実は岡田のブロックやアタックなどで５連続得点で流れを掴みとこのセットを奪い、セットカウント２－１とした。
　第４セット、序盤は一進一退の攻防が続くが、中盤に入り就実は深澤（つ）のアタックなどで4連続得点をあげ、リードを広げる。古川学園もタピアや高橋のアタックで対抗するが、最後は就実の深澤（め）の力強いアタックが決まり、セットカウント３－１で勝利を収め、２年連続の優勝を掴み取った。

作成者： 清水　弘也

※本票の著作権は、公益財団法人日本バレーボール協会に帰属します。